

UR都市機構に対する質問と回答



UR都市機構に対し震災時の対応についてH27年2月27日に7項目の質問をしたところ、3月20日に下記回答を頂けましたので、ご報告させていただきます。
尚、各回答には、自治会として<補足解説>を記載しました。

シーリアお台場三番街自治会 榎本副会長様

いつもお世話になっております。

お問合せの概要について回答いたします。

質問1) 現在、住民に対する震災を想定した防災マニュアルはどのようなものがあるか。

<回答>

内部資料として、大震災発生時の災害対策本部組織設置要領、行動マニュアル等がございます。

<補足解説> 質問の意図は「住民が震災時に行動するためのマニュアルをURは用意しているか?」という事だったのですが、「企業のBCPに対する内部資料がある」という我々には直接関係の無い回答でしたので、電話で確認したところ、住民向けに配布、公開された防災マニュアルはないという事でした。

質問2) 震災時における防災センターの役割はどうなっているか。

<回答>

火災、地震その他の災害が発生した場合の防火対象物における初期消火、通報連絡避難誘導、消防隊への情報提供その他自衛消防活動に関する対応（業務委託契約仕様書より）

<補足解説> 防災センターは震災時に想定されるライフライン停止等に対応し、住民が安全に生活を維持するための行動サポートを想定しておらず、火災に対応する契約だけだとのこと。また、合鍵等も管理していないとの事です。

質問3) 震災時における管理事務所の機能はどのようなものになるか。

<回答>

状況把握及び報告 なお、災害の状況により職員の安全確保のため管理サービス事務所を閉鎖する場合があります。

<補足解説> 住民に対する避難誘導等の役割についての説明は頂けませんでした。

質問4) 高齢者や身障者など、要支援者への対応（鍵を開けての安否確認等）はどのような想定になっているか。

<回答>

高齢者身障者等に限定した対応活動は特に対応想定はしておりません。
一部自治会加盟団地にて階段避難器具を用意していると聞いております。

<補足解説> ここでいう一部自治会加盟団地とは当自治会のことではありません。

質問5) 非常用発電機のスペックと備蓄燃料の種類と量。連続運転可能時間と冷却装置の有無を教えてください。

<回答>

定格電圧（V）：200V、発電出力（KVA）：500KVA、燃料種類：軽油、燃料槽要領（リットル）950リットル 連続運転時間（h）通常運転：26h、冷却方式：水冷式

質問6) 非常用発電機の電力は施設のどの部分に供給されるのか。

<回答>

非常用コンセント、消火ポンプ、排煙装置、非常用エレベーター（4号棟1台のみ）

<補足説明> 非常用発電機は火災に対する避難、消火活動のためだけの機能として設定しており、長期停電時に必要となる「火災報知機」や「館内放送」等の施設へは電力供給する仕組みになっていないようです。

質問7) 震災対応の防災備品の備蓄場所と種類を教えてください。

<回答>

リバーシティ21イーストタワーズ団地内災害対策拠点防災倉庫有り。

内容は職員用及び災害対策備品

<補足説明> リバーシティ21とは中央区にあるURの住宅で、シーリアお台場三番街が震災時に利用できる環境にはありません。

今回中央区にて作成した震災発生時の対応用DVDを1枚 昨年の協力として頂きました。

自治会にて見てみたい等希望がありましたらお貸しいたします。 以上報告致します。

UR都市機構 業務受託者

株式会社URコミュニティ東京南住まいセンター

東京都港区芝1-7-17住友不動産芝ビル3号館1階

電話 : 03-5427-5960

